

エコアクション21

環境経営レポート



レポートの対象期間：平成31年4月～令和2年3月

発行日：令和2年4月30日

駿遠三菱自動車販売株式会社

組織の概要

1. 事業所名

駿遠三菱自動車販売株式会社

フリーダイヤル 0120-81-5131

電話 054-643-5333

FAX 054-643-0553

E-mail mmc@sunnenn.mitsubishi-motor-sales.com

ホームページ <http://www.s-mitsubishi.com/>

- ・本社(藤枝市水守1丁目19-34)
- ・藤枝店(藤枝市水守1丁目19-34)

2. 創業

昭和53年3月3日

3. 代表者氏名

代表取締役社長 大畑勝彦

4. 事業活動の内容

- ①新車の販売
- ②中古車の販売
- ③自動車の整備
- ④保険代理業
- ⑤レンタカー事業

5. 事業の規模(平成31年度)

売上高 730百万円

従業員数 28人

事業所床面積 797㎡

新車販売台数 135台 中古車出庫台数 213台 整備入庫台数 7,033台

6. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任(担当者) 大畑 勝慶 (054-643-5333)



電気自動車 i-MiEVシリーズ

電気自動車のパイオニア三菱自動車が世に送り出したクルマ

- 走行中のCO2排出ゼロ
- 自宅で充電、街で充電
- 静かでキビキビ、快適な走り
- 100%電気で走る＝ガソリン代ゼロで、ゆとりある毎日を

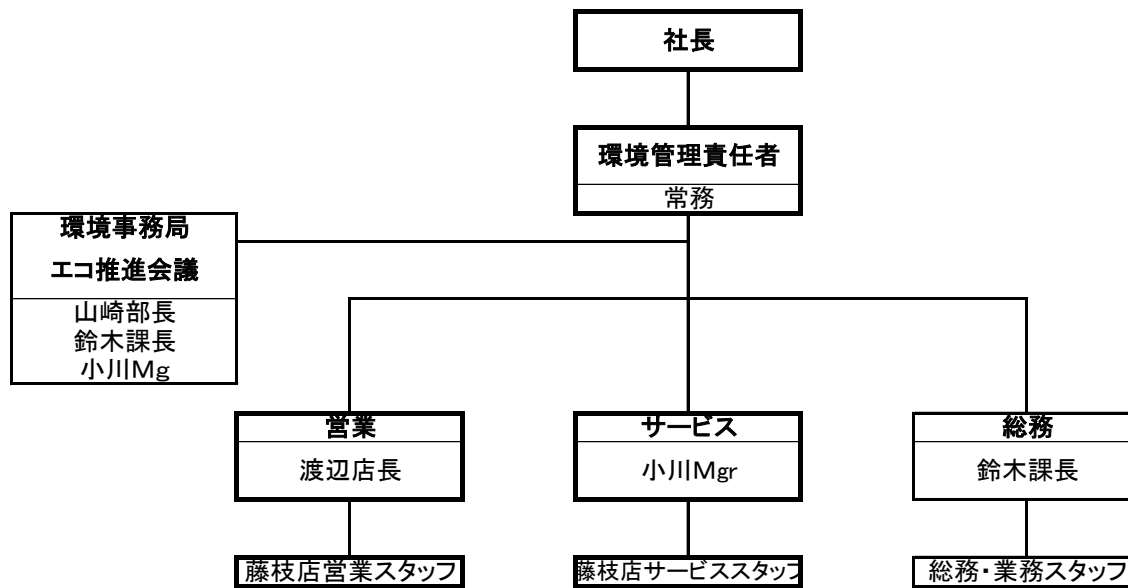
対象の範囲及び組織図

○全事業を対象とする。

エコアクション21 実施体制

駿遠三菱自動車販売㈱

平成31年4月1日



ダウンサイジングターボ
エクリプスクロスには1.5L直噴ターボエンジンが搭載されている。
力強い走りと環境性能を両立させたエンジン。
走って愉しくエコなエンジン。

役割と権限

EA21の役割	担当	責任と権限
代表者	社長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者・環境監査責任者(推奨事項)の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境マネジメントシステムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境マネジメントシステムの評価、見直しの実施 5. 内部環境監査の実施の指示(推奨事項)
環境管理責任者	大畑常務	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境マネジメントシステムの確立及び実施、維持を推進 2. 環境負荷、環境取組状況の把握及び評価 3. 環境目標・環境活動計画の策定 4. 環境マニュアルの制定 5. 緊急事態対応手順の策定 6. 取組状況の確認と評価及び環境会議(社長)への報告 7. 問題が発生した場合は是正処置等の指示 8. 環境活動レポートの承認
環境事務局 エコ推進会議	山崎 鈴木 小川	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境関連法規等の取りまとめ及び最新情報の収集 3. 環境方針の立案 4. 環境目標、環境活動計画の立案 5. 環境経営マニュアルの立案 6. 緊急事態対応手順の立案 7. 取組手順書(運用手順、運用基準、監視・測定基準、記録)の作成 8. 各部門(店舗)の取組状況の取りまとめ 9. 教育・訓練計画の作成 10. 文書・記録類の管理 11. 環境活動レポートの作成 12. エコ推進会議にてPDCAサイクルを毎月チェックする
環境責任者	渡辺 小川 鈴木	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部門(店舗)の環境マネジメントシステムの確立及び実施、維持を推進 2. 部門(店舗)の環境活動計画の策定 3. 教育・訓練の実施 4. 外部からの苦情等への対応及び環境管理責任者への報告 5. 緊急事態対応の訓練実施 6. 部門(店舗)の取組状況の評価及び環境管理責任者への報告 7. 問題が発生した場合は是正処置等の実施 8. 環境方針の理解と積極的な取り組み 9. 部門の取り組み状況の確認、環境責任者へ報告
全従業員		<ol style="list-style-type: none"> 1. エコアクション21への自主的かつ積極的な取り組み 2. 問題点、改善点があれば毎月の会議にて話し合う



電気自動車・プラグインハイブリットに蓄えた電気を家の家庭の電力に使用
アウトランダーPHEVがV2Hに対応し循環型社会を提案し新たな車の価値を訴求

[基本理念]

駿遠三菱自動車販売株式会社は、クルマの販売・整備などの事業活動を通じて人・社会・地球の共生を目指します。
安全・快適・エコなクルマを大切なお客様に提供すること、そして地球環境の保全が重要課題であると認識します。
よき企業市民として地域への環境保全活動に自主的かつ積極的に取り組みます。

[基本方針]

当社は、事業活動が地球環境に与える影響を認識し、環境負荷の低減を図るべく、以下の環境保全活動を推進します。

- 1.環境目標を設定、環境マネジメントシステムを効果的に運用し、継続・改善に努めます。
- 2.環境に関する法令・規制・条例等を遵守します。
- 3.全社員が職場、家庭そして社会人として省資源、省エネルギー、リサイクル活動、公害防止など環境負荷の低減に取り組みます。
- 4.環境負荷低減のため、特に以下項目を推進します。
 - ①総エネルギー使用量の削減(電力使用量、燃料使用量)
 - ②水資源使用量の削減(水使用量)
 - ③廃棄物の排出抑制と適正処理
 - ④温室効果ガスの排出抑制
 - ⑤環境に配慮したクルマの販売、サービスの提供
 - ⑥グリーン購入
 - ⑦周辺環境の維持・改善(店舗及び周辺の清掃)
- 5.この環境経営方針を全社員に周知徹底するよう教育・推進し、環境経営レポートを作成公表します。

平成23年7月1日
駿遠三菱自動車販売株式会社

代表取締役社長

大畑 勝彦

環境経営目標

- 当社の事業年度は4月から翌年3月です。
- 電力の排出係数は0.472(平成30年度)です。

【単年度及び中期目標】

(4月～3月)

環境目標(4月～3月)

環境方針	項目	単位	基準年	基準年に対する目標		
			平成27年度	令和元年	令和2年度	令和3年度
温室効果ガスの排出抑制	二酸化炭素排出量	kg-CO2	94,786	△0.5%	△1%	△1.5%
エネルギーの効率的利用	電力使用量	kwh	87,379	△0.5%	△1%	△1.5%
	燃料					
	ガソリン	L	25,479	△0.5%	△1%	△1.5%
	軽油	L	1,973	△0.5%	△1%	△1.5%
廃棄物の排出抑制と適正処理	産業廃棄物排出量	kg	2,751	△1%	△1%	△1%
	一般廃棄物	kg	1,314	△1%	△1%	△1%
資源の効率的利用	水使用量	m3	1,342	△1%	△1%	△1%
グリーン購入	グリーン購入	%	16%	20%	25%	30%
環境に配慮したサービス	法定点検	キャッチ率	55%	64%	65%	65%

※キャッチ率とは点検実施台数を点検到来台数で割った数値



近場の外出は電気だけ。
遠出のときは、電気ときどきガソリンで。

Drive your Ambition

主な環境経営計画の取り組み

項目	活動内容	評価	継続の有無
電力使用量の削減 責任者: 渡辺	・空調温度の管理	○	○
	・事務所不要照明の消灯	○	○
	・エアコンフィルターの毎月1回清掃	○	○
	・退社時OA機器を主電源から切る	○	○
	・クールビズの導入	○	○
	・ウォームビズの導入	○	○
	・ショールームブラインドの開け閉めをこまめに行う	○	○
ガソリン・軽油の削減 責任者: 山崎	・自動販売機の照明消灯	○	○
	・社内ではアイドリングストップ	○	○
	・代車の空気圧点検	○	○
	・積載車エコドライブ見える化	○	○
水使用量の削減 責任者: 立林	・代車、営業車、社有車の燃料公開管理	○	○
	・洗濯機の使用法の改善	○	○
廃棄物の排出量削減 責任者: 小川	・サービス工場の清掃改善	○	○
	・廃棄物分別管理徹底	○	○
二酸化炭素排出量の削減 責任者: 山崎	・紙ごみリサイクル推進	○	○
	・コピー用紙枚数の管理	○	○
	・両面コピーの推進	○	○
	・空き缶、ペットボトルのリサイクル	○	○
	・ガソリン使用量削減、電力使用量削減に同じ	○	○
周辺環境の維持、改善 責任者: 渡辺	・担当者を決めて始業前に店舗周辺の清掃活動をする	○	○
	・月に一度店舗の周りの美化活動をする	○	○
環境に配慮した商品・サービスの提供 責任者: 小川	・お客様のニーズに合ったエコカーを提案する。	○	○
	・次世代エコカーに関する知識勉強	○	○
	・環境に配慮した法定点検の推進	○	○
内部コミュニケーション 責任者: 鈴木	・定例会議での数字のフォロー、話し合い。	○	○



低燃費、低排出ガス、静粛性を実現したクリーンディーゼルエンジン搭載のデリカD:5
エコのみならずトルクフルな走りは45度の坂も駆け上がります。
写真は弊社で開催したイベントの様子です。

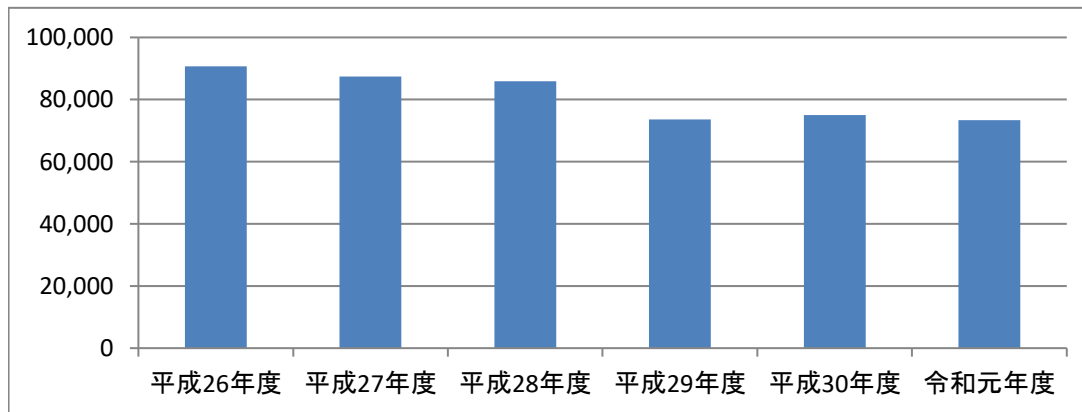
全体としての評価(4月～3月)

項目		目標	実績	目標達成率	評価
二酸化炭素排出量(kg-CO2)		94,312	90,418	104.3%	○
産業廃棄物排出量(kg)		2,723	2,649	102.8%	○
一般廃棄物(kg)		1,301	1,123	115.9%	○
電力使用量(kwh)		86,942	73,427	118.4%	○
燃料	ガソリン(L)	25,352	22,589	112.2%	○
	軽油(L)	1,963	1,300	151.0%	○
水使用量(m3)		1,329	839	158.4%	○
グリーン購入		30%	67%	222.7%	○
エコ整備(法定点検キャッチ率)		64%	65%	102%	○

評価基準	
○	達成
×	未達成
-	評価不可 評価対象外

※キャッチ率とは点検実施台数を点検到来台数で割った数値

電力使用量の取り組み



【結果】

達成です。

【要因分析】

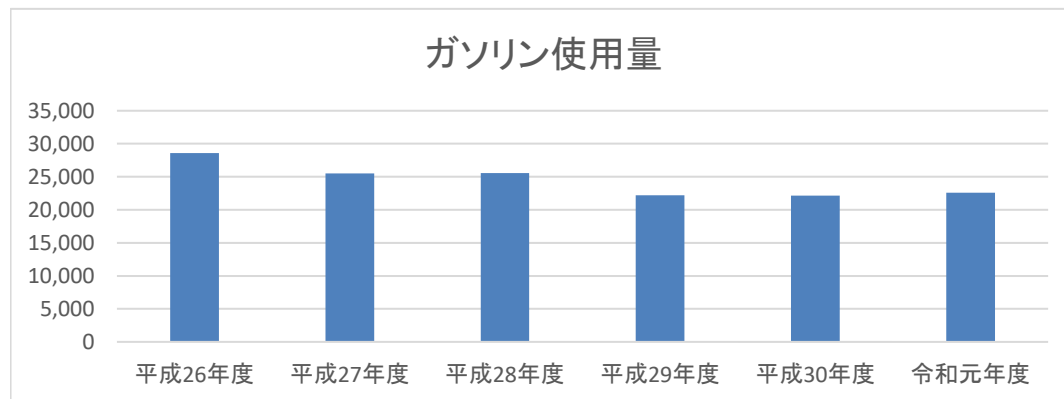
エアコンのこまめな温度調整が出来ました。

【次年度の取り組み】

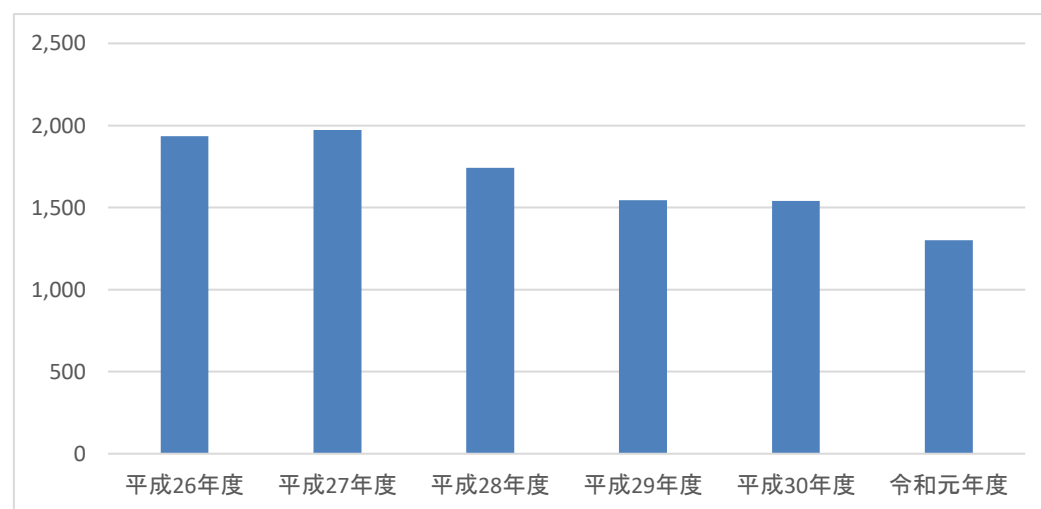
次年度はコロナウィルスの影響で窓を開けたままエアコンをかけます。
感染防止拡大とエコを両立させるべくがんばります。

ガソリン、軽油削減の取り組み

ガソリン使用量



軽油使用量



【結果】

ガソリン、軽油ともに目標達成です。

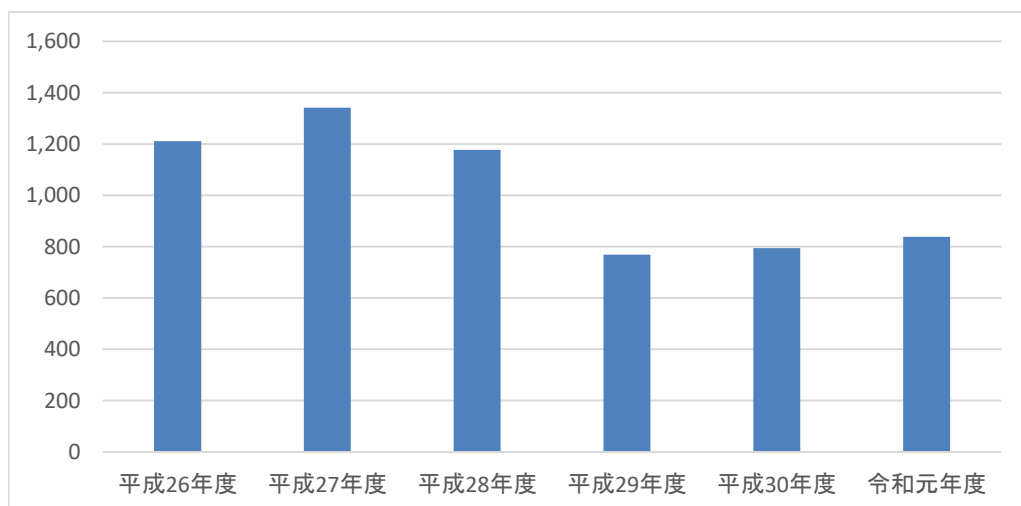
【要因分析】

納車ガソリン使用量の定期的な振り返りや社有車運航記録簿管理システム導入のためです。

【次年度の取り組み】

ガソリン使用量は毎年減少しております。引き続きエコドライブを心掛けていきます。軽油使用量に関しては積載車のエコドライブを意識していきます。

水道使用量削減の取り組み



【結果】

目標達成となりました。

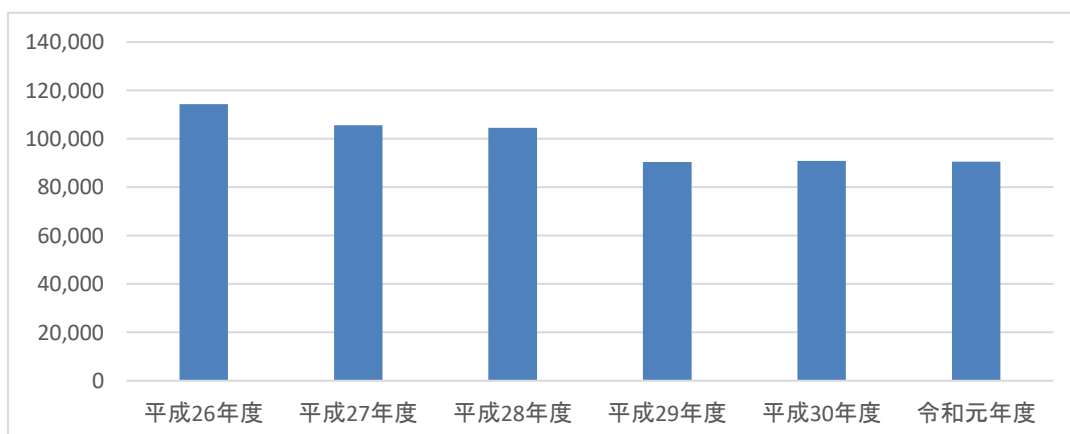
【要因分析】

節水の意識が習慣化してきました。一方で昨年度より使用量が増えているのは熱中症対策の為に散水や冷風機の導入によるものと思われます。

【次年度の取り組み】

引き続き洗車時の出しっぱなしなど節水に心がけます。

CO2排出削減の取り組み



【結果】

目標達成となりました。

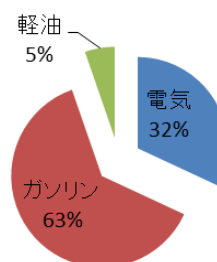
【要因分析】

当社におけるガソリンの二酸化炭素割合は63%と大半をしめています。ガソリン使用量の削減が反映されております。

【次年度の取り組み】

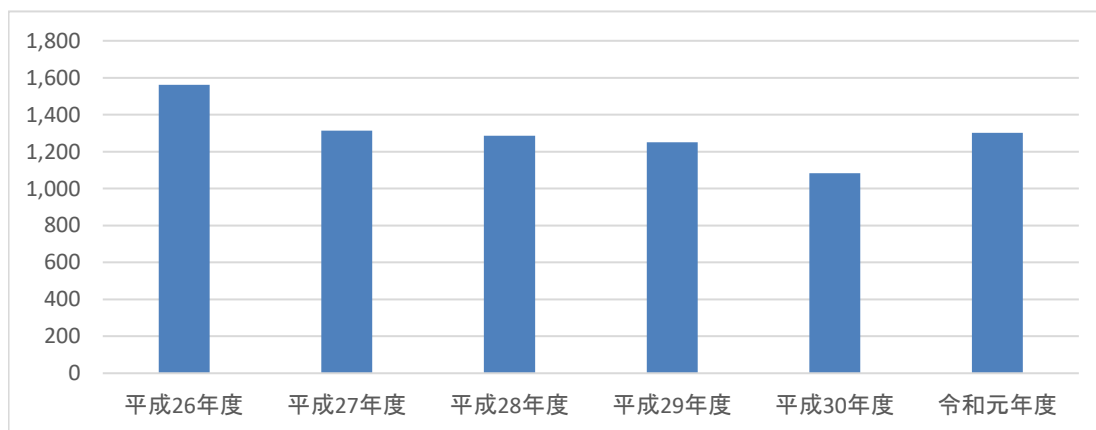
今後とも継続習慣化する。

《二酸化炭素排出割合》

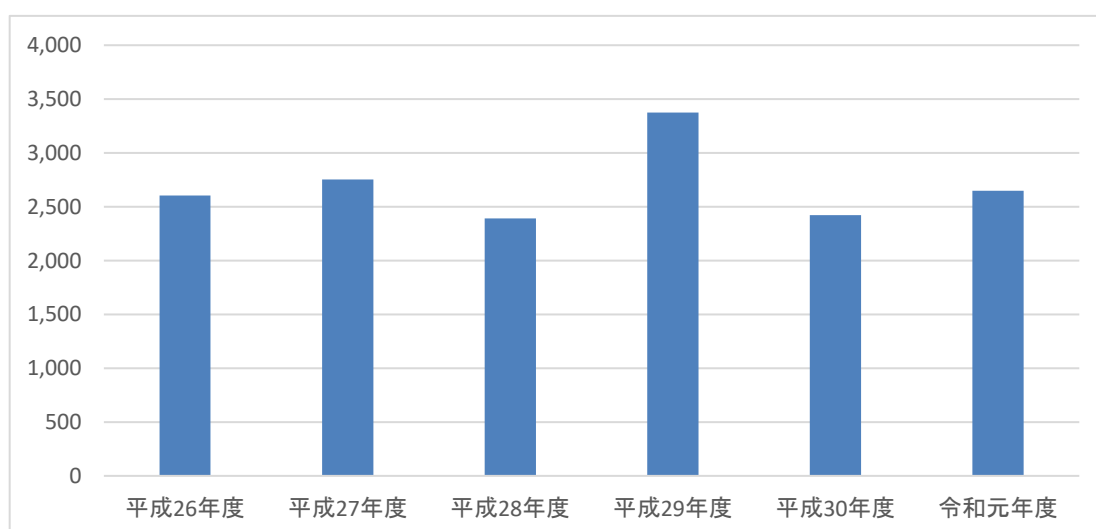


廃棄物削減の取り組み

一般廃棄物



産業廃棄物



【結果】

一般廃棄物、産業廃棄物共に目標達成です。

【要因分析】

分別に実施です。一方で一般廃棄物が昨年よりも増えています。社員数の増加や熱中症予防のため飲み物の廃棄物が増えたのが要因です。

【次年度の取り組み】

今後も分別に心がけていきます。

エコ整備の推進＜法定点検キャッチ率＞

※キャッチ率とは点検実施台数を点検到来台数で割った数値

目標	実績
64%	65%



【結果】
達成です。

【要因分析】
ハーティーメンテナンス(パック商品)の普及による掌握率上昇のためです。

【次年度の取り組み】
さらにエコ整備を推進するためハーティープラスメンテナンス(パック商品)のすすめや魅力的なメニューの開発をします。

藤枝市クールチョイス運動紹介映像へ出演

藤枝市が取り組んでいるクールチョイス運動紹介映像へ出演しました。
エコドライブやエコカーへの乗り換えで環境に優しい暮らしができることを地域の皆様にアピールいたしました。



環境フェスタへエコカーを出展

藤枝市の環境フェスタへ出展しアウトランダーPHEVを展示しました。
地元の藤枝ジュニアお茶大使がお茶を沸かす電気を供給しました。
エコカー+αの価値をお伝えしました。



近隣の学校からの職場体験・インターンシップ受け入れ

近隣の中学校から2校6名、高校から1校1名、大学生1名の合計8名受け入れました。
体験を通じて電気自動車等エコカーのしくみ、エコ整備など勉強してもらいました。
地域社会への貢献としてこれからも継続して参ります。



i-padや社内システムを使用したペーパーレス化



営業スタッフ1人1台導入し
自動車保険の手続きや査定
が画面上で出来ます。

お客様からも説明がわかりやす
くなったとエコと顧客満足度が
両立しています。

次期環境経営計画の取り組み計画

項目	活動内容
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の管理 ・事務所不要照明の消灯 ・エアコンフィルターの毎月1回清掃 ・退社時OA機器を主電源から切る ・クールビズの導入 ・ウォームビズの導入 ・ショールームブラインドの開け閉めをこまめに行う
ガソリン・軽油の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・社内ではアイドリングストップ ・代車の空気圧点検 ・積載車エコドライブ見える化 ・代車、営業車、社有車の燃料公開管理
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯機の使用法の改善 ・サービス工場の清掃改善
廃棄物の排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物分別管理徹底 ・紙ごみリサイクル推進 ・コピー用紙枚数の管理 ・両面コピーの推進 ・空き缶、ペットボトルのリサイクル
二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン使用量削減、電力使用量削減に同じ
周辺環境の維持、改善	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者を決めて始業前に店舗周辺の清掃活動をする ・月に一度店舗の周りの美化活動をする
環境に配慮した商品サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様のニーズに合ったエコカーを提案する。 ・次世代エコカーに関する知識勉強 ・環境に配慮した法定点検整備の提案
内部コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会議での数字のフォロー、話し合い。

今後ともエコ整備の商品ラインナップを充実していき
省燃費のお手伝いをさせていただきます。

環境関連法規の違反、訴訟等の有無

適用される法規制		要求事項	遵守状況確認
1	水質汚濁防止法	水質汚濁防止法第5条第1項	特定施設(自動車自動洗浄装置)の届け出 ○
2	下水道法	下水道施行令第9条 第9条の4 藤枝市下水道条例 第9条	水質の測定と記録 該当なし
4	廃棄物処理法	廃棄物処理法第3条 廃棄物処理法第12条第5項	廃棄物の適正処理 処理委託業者との契約締結 ○
5	自動車リサイクル法	使用済自動車の再資源化等に関する法律 第9条	使用済自動車の適正処理 ○
6	消防法	消防法 第8条	防火管理者の届け出 ○
7	フロン排出抑制法	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	冷凍空調機器:全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検(3か月に1回以上)」実施 ②一定規模以上の業務用のエアコンを対象とした定期点検(専門家による点検) ○
8	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例第17条	産業廃棄物管理責任者の設置 産業廃棄物処理委託先の更新確認 ○

違反、訴訟の有無

環境関連法規への違反はありませんでした。

なお、関係当局より違反・訴訟等の指摘は過去3年間ありませんでした。

法規制遵守確認日: 令和2年4月25日

法規制遵守確認者: 大畑勝慶

代表者の評価と見直し

(1) 全体評価

- * EA21目標達成状況
達成

全体評価としては4段階評価の「良」である。

(2) 環境方針・目標等の見直し

- * 環境経営方針は変更しない。
- * 環境経営目標はコロナウィルス感染拡大防止に向け環境との両立をめざすべく変更も検討する。

(3) 指示事項

「継続、そして習慣に」

- * 見える化で環境意識の向上(対前年数値比較)
- * エコカー、エコ整備、その他環境配慮型の商品を営業、サービス一体となって推進する。
- * 社員自らエコ意識を持ち、行動する職場環境、そして家庭、地域社会で率先垂範、実践できる人づくり

5S活動(整理、整頓、清潔、清掃、躰)とエコアクション21活動を組み合わせ相乗効果をめざしていく。

評価・見直し日:令和2年4月30日

評価・見直し者:大畑勝彦